

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)		
山口市	嘉川(赤坂、千見折、免地、稽古屋、宮ノ原、東本郷、西本郷、上中野、下中野、中田畑、福岡、上嘉川、中市、市、大原)・小郡(三軒屋、柏崎)		
作成年月	直近の更新年月	今回の更新年月	
平成26年12月	平成30年12月	令和2年12月	

## 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	143.4 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	74.4 ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	20.5 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	19.8 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.7 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	5.44 ha
(備考)	

## 2 対象地区の課題

- ・山陽本線より西側に後継者未定の農地が点在しており、個人で営農していくには限界がある。
- ・地権者が多く、農地の集約化が難しい。
- ・道が狭く、土壌が良くない等の圃場条件が悪い農地が多い。
- ・水源から農地までの距離が遠く、水管理が難しい。

## 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

○山陽本線東側(小郡開作)  
「いろはにの割」(小字)は(農)浜田が、「ほへの割」・「いしわら・ふきあげ」(小字)周辺は森重男佐三・落合敏行の支援のもと(株)けんちゃんベリー・スペシャライズが集約していく。

○山陽本線西側  
拡大意向のある経営体がないため、今後検討が必要。

## 4 3の方針を実現するために必要な取組みに関する方針

- ・農地中間管理機構の活用や利用権設定により集約を進めていく。
- ・既存の中心経営体が新たな担い手の発掘や育成を行っていく。

## 5 中心経営体

## 6 経営体

- ①現状の経営面積合計 30.14ha
- ②今後(5年後)の農地の引受けの意向 最大35.58ha  
(地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計②-① 5.44ha)